



寒波への備え

ヒューストンでは冬の到来と共にハリケーンシーズンは終わりを告げますが、比較的温暖な冬でも寒波の到来による大規模停電、断水といった大きな影響を伴う自然災害が起こる可能性があります。2021年2月には32年振りとなるマイナス9度の寒波が到来し、ここヒューストンでも積雪があり、広範な地域で数日に亘って停電や断水の影響を受けました。2022年もクリスマス時期の寒波により一部で水道管の破裂といった被害が見られました。昨年も寒波はあったものの特に大きな被害は受けずに終えたようですが、これから冬が深まるにつれて3年前のような想像を超える寒波が来る可能性もありますので、十分な準備を心掛けて頂きたいと思います。

2021年にヒューストンを襲った寒波では至る所で凍結により水道管の破裂が発生し、広範囲で断水となりました。また、寒さによる凍結で発電設備の稼働が停止する一方で、暖房のため急激に電力需要が増大し、テキサス州固有の送電網事情も相まって長期間に亘って停電となり、水と電気という重要なライフラインが途絶され、非常に大きな影響をもたらしました。停電の結果、暖をとるためエンジンをかけたままの車内で過ごしたり、屋内で発電機を使用したことにより、多くの人が一酸化炭素中毒になったとされ、さらにはろうそくが原因とされる住宅火災も発生しました。こういった被害を受けてテキサス州ではバイデン大統領により非常事態宣言が発令され、さらに数日後には甚大な被害を支援するために大規模災害宣言も続けて発令されるという事態に至りました。

停電や断水による大きな影響としては、暖房が使えないことによる厳しい寒さ、不自由な食事、食器の洗いやトイレ等に必要の生活用水の不足、携帯電話の充電問題、路面凍結による車移動の制限、スーパーやガソリンスタンドの品不足といった点が挙げられます。このような事態に備え、十分な飲料水や食料を確保することはもちろん、浴槽やバケツに生活用水をしっかりと貯めることも必要です。携帯電話の充電器、洗いや物が不要な紙コップや紙皿、懐中電灯、暖かい食事を取るための簡易ガスコンロ、防寒服等も必要となります。車のガソリンを事前に満タンにしておくことも重要です。また、路面凍結時には不要不急な外出は控えること、停電となった場合には上記のような一酸化炭素中毒や火災の予防にもご留意頂ければと思います。

ゴルフストリームでは2021年の寒波の際に寒波特集を組んでおり、[安全危機管理ページ](#)からお役立ちサイトやアプリを記載したバックナンバー、商工会の会員様向けに実施したアンケート等も掲載されていますので、ご参考にして頂ければ幸いです。

また、寒波の話からはそれですが、車に関するヒューストン特有の事情として、冬のタイヤ空気圧の低下があります。夏と比較して空気圧が2〜3割ほど低くなることがありますので、事故防止と燃費改善の観点から、ガソリンスタンドや車ディーラー、タイヤショップ等で空気圧をご確認の上、必要な空気を注入して頂ければと思います。

(安全・危機管理特命理事 竹原 優)